

ルート案内の正確性を向上！
収集・配送業者様に安心・安全を！

業務用カーナビ SDK を刷新 「新データの採用」と「一般道直前案内 API」提供開始

～より適正化されたネットワークの採用と低速時の案内機能改良～

株式会社昭文社ホールディングス(本社:千代田区麴町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード:9475)とその子会社である株式会社マップル(本社:千代田区麴町、代表取締役社長 黒田茂夫、以下マップル)は、マップルが企画・開発する2020年版カーナビ SDK パッケージ「業務用カーナビ[※] Ver.5.0」に地図データとしてインクリメントP株式会社(以下、インクリメントP)のデータを採用したこと、及び新たな機能として『一般道直前案内 API』を追加し、2020年9月7日よりリリースしましたことをお知らせいたします。

※「業務用カーナビ」は業務アプリ開発者様が利用するカーナビ SDK(ソフトウェア開発キット)パッケージです。

)) 新データの採用 ((

インクリメントPの地図データは、多数のカーナビメーカーに採用された信頼と実績を持つデータです。カーナビでの利用に特化したネットワークデータの採用、レベル適正化といった長年のノウハウを取り込むことで、業務用カーナビとしてより良い機能、サービスの提供を継続すべく、「業務用カーナビ Ver.5.0」より採用いたしました。

|| 主な改善点

1. 広域ネットワークデータのレベル適正化

広域ネットワークデータの採用は、単純な道路規格以外にも、実情として使用されている道路をどの縮尺での探索に用いるか各データ提供元のノウハウが詰まっています。新データではこれらの情報を含めた広域ネットワークデータの適正化により、より効率的なルート探索を実現します。

広域地図において、従来は表示、探索に利用されていなかった道路が、新データでは利用されるようになりました。



<広域地図における探索道路の比較。左：従来データ、右：新データ

※右図の赤矢印部分が適正化され加わった道路>

2.二条路データの増加

道路データにおいて、二条路のデータが以前のバージョンより増加します。これにより、道路脇の目標物、目的地への誘導案内が適正に行われるようになります。

従来は一条路として表示されていた通りが、二条路として表示されるようになるなど、より見やすく、わかりやすくなります。



<二条路表示の比較。左：従来データ、右：新データ
※右図の赤矢印部分が新たな二条路表示>

この他にも案内表示イラストの刷新、収録市街地図の増加、検索コンテンツの追加など、カーナビでの利用を考慮した機能変化がございます。

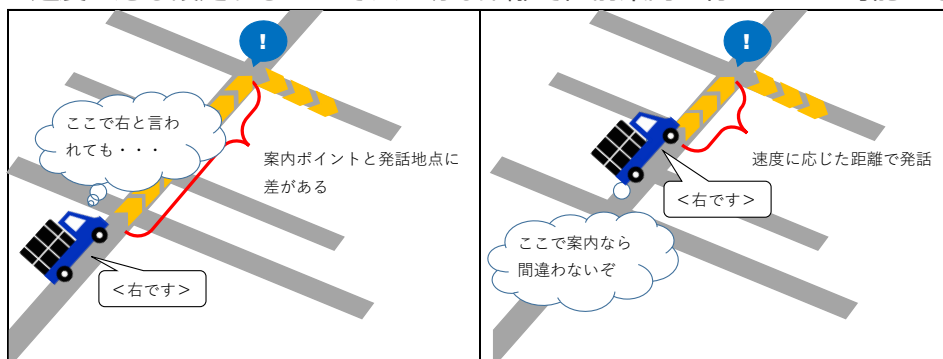
)) 一般道直前案内 API ((

|| 開発の経緯

カーナビの音声案内は通常走行(概ね40~50km/h程度)を想定して案内タイミングを決定していました。しかしながら配送業者様、収集業者様等、街路が短距離で連続するエリアを低速で走行することが想定される状況において、従来の案内タイミングでは目標とする地点までに複数の分岐がある距離で直前案内を行ってしまい、案内が必要とされる地点と実際の案内タイミングのズレが生じていることが、より正確な案内を行う上での課題となっていました。

今回マップルが開発した「一般道直前案内 API」では、低速走行時の案内タイミングを3段階で設定できる機能を実装し、より走行状況に合わせた直前案内を行うことが可能となります。

- 従来は低速走行時でも既定の距離で直前案内を行っていたため、音声発話時点から案内地点までにいくつも右折ポイントがあり、どこで曲がるかわからない。
- 新APIでは速度に応じ設定することで、適切な距離で直前案内を行うことが可能となる。



<音声案内のタイミング比較イメージ。左：従来仕様、右：一般道直前案内 API>

2020年9月7日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社マップル

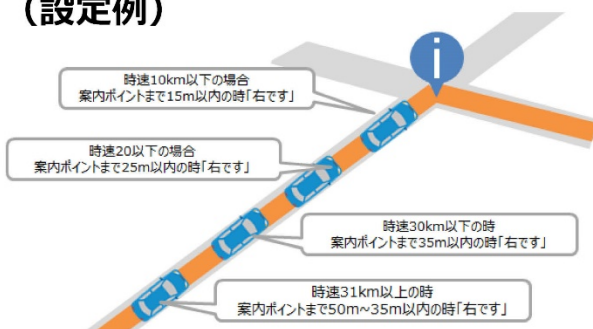
実装も API を組み込んでいただくだけでですので、大変簡易にご利用いただける仕様となっております。ドライバー不足が取りざたされている昨今、不慣れな地域を走行せざるを得ない状況においても、より走行条件に適した案内を行うことで効率的な配送・収集業務の一助となり、労働生産性の向上と安心・安全な業務遂行に有効な機能です。

マップルとしては本サービスを通じて、今後、物流量の増加によりさらに大きな社会課題になることが想定される配送のラストワンマイルにおける課題解決に貢献して参りたいと考えております。

使用例

一般道を低速走行時の直前案内タイミングを任意のタイミングへ変更できます。

(設定例)



速度毎に直前案内の距離を設定可能。

速度、距離の設定は 50(km/h、m) 以下とし、最大で 3 回の設定を行えます。

(設定した最大速度以上の場合の発話距離は 50 m 固定です。)

- [設定 1] 速度：10km 以下 / 距離：15m 以下
- [設定 2] 速度：30km 以下 / 距離：35m 以下
- [設定 3] 速度：20km 以下 / 距離：25m 以下

※直前案内以外のタイミングは変更できません。

※本設定は起動時に有効となるため、カーナビ起動中は変更できません。

<一般道直前案内 API の設定例説明画像>

)) マップルの提供する業務用カーナビ (SDK) について ((

「業務用カーナビ」は、業務アプリの開発者様が利用するカーナビ SDK パッケージです。

- || タブレットや PC で動作する業務アプリに地図表示やカーナビ機能の追加が簡単にできます。
- || カーナビ機能を外部から操作する API を多数ご用意しており、独自のカーナビを開発できます。
- || 動きを重視した作りになっているため、ストレスのない操作性を実現することができます。
- || データを端末にインストールしますので、通信できない/通信を抑えたい環境での利用が可能です。
- || Android OS 版・Windows OS 版をご用意しています。

● 紹介用 WEB ページはこちらから

<https://www.mapple.co.jp/biz/service/digital/car-navigation/biz-carnavi/>

- || 業務アプリへ「業務用カーナビ SDK」を貼付することで簡単にカーナビ機能を追加できます。



2020年9月7日 株式会社 昭文社ホールディングス
 株式会社マップル

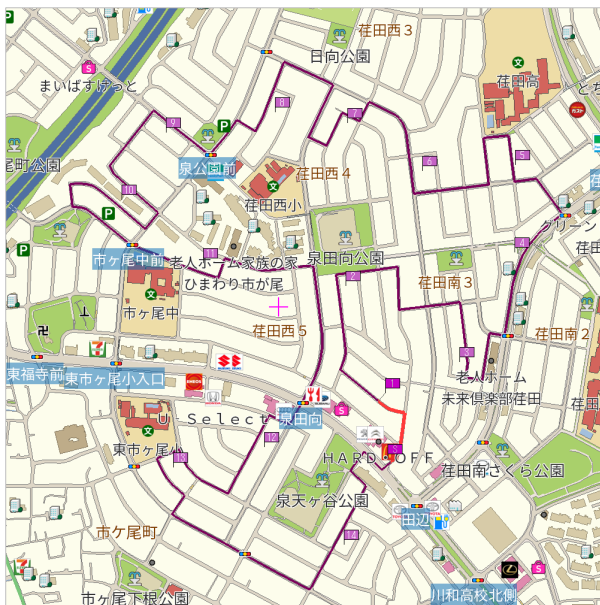
- || 緯度経度を指定してアイコンの表示や文字の表示、線や面の表示ができます（図1）。
- || 緯度経度点列を指定してカーナビで案内可能なルートを作成します（図2）。
- || 複数の目的地を効率的に巡回する順序を算出しカーナビで案内可能なルートを作成します（図3）。



<図1：地図上へのアイコン、線、面の描画 API の例>



<図2：緯度経度点列から案内ルート作成 API の例>



<図3：巡回ルート探索 API を利用したルート探索の例>

マップルは、今後もこのような社会に存在する様々な課題やニーズに沿った製品・サービスをご提供することで、自社の持つ地図や情報の価値を最大化し、社会の課題解決や企業の発展に貢献する企業を目指して参ります。

)) 本製品のお申し込み・お問い合わせは下記まで ((

株式会社マップル事業本部 第二事業部 営業課 業務用カーナビ担当

住所：〒102-8238 東京都千代田区麹町3-1

TEL：03-3556-8166 / FAX 03-3556-8881

 Mail：gis@mapple.co.jp